

令和元年

白銀中学校だより

学力特集号

令和元年11月27日

北九州市立白銀中学校

令和元年度 全国学力・学習状況調査結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成31年4月18日（水）に、3年生を対象として、「教科（国語、数学、英語）に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の本校の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析（傾向や特徴）
国語	全国平均を下回っている。「読む」という基本的な力が弱い。漢字が正しく読めなかったり、落ち着いて文章が読めなかったり、設問を最初から最後まで読んでいない傾向がある。「投稿先の名前と住所を書く問題」がよくできていた。しかし、文章を書く問題については、無回答が多くなっており、記述式問題が努力を要する。
数学	全国平均を下回っている。特に表から反比例の式を求める問題と最頻値を求める問題ができていない。無回答の数も多く、説明しなければならない問題では、無回答が50%を超えているものもある。グラフから代表値の種類を読み取る問題は、全国平均を上回っている。
英語	全国平均を下回っている。聞き取ることができても、それを要約したり、言い換えたりすることが苦手である。聞き取ったことを、絵で表しているものを選択する問題はできているが、自分で考え、表現する問題は努力を要する。

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
学習習慣について「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」について肯定的な回答が全国の結果よりも下回っている。また、「授業以外にどれくらいの時間勉強するか（60分以上行う割合）」については、全国の結果より大きく下回っている。読書の習慣についても下回っている。 心の育ちについては「学校の規則を守っていますか」「自分にはよいところがありますか」「人の役に立つ人間になりたいですか」などの質問に肯定的な回答をした生徒の割合が高いものの、全国の割合を下回っている。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

①教科に関する取組（全校で・学年で・学級で）

◎基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得に向けた取組

- ・学習規律の確立及び一人ひとりの生徒のきめ細かな指導に向けて、全学年・全教科・全授業において、複数の教員による指導を工夫する。

◎学力向上のための特設時間の実施

- ・定期考査前には、全生徒を対象に6校時後に補充学習（質問教室）を実施し、個に応じた指導に努める。

◎過去問題・アシストシート、活用を高めるワークの活用

- ・単元末に過去問題・アシストシート、活用を高めるワーク等を位置付け、活用する。
- ・長期休業日などに冊子にして宿題として実施する。

◎「聴写テスト」を行って、聞く力・集中する力等を高める取組を行う。

②家庭生活習慣等に関する取組

- ◎家庭学習の習慣化を図るため、「白銀ノート」を作成し、毎日、その日の家庭学習を記入し、翌日に担任へ提出させることで、家庭学習の習慣化を図る。また、ノートには読書についての記入欄もあり、「本の題名・読んだページ数」を日記にすることで読書習慣の定着も図る。